

財 政 の あ ら ま し

平成 26 年 6 月
大 阪 市

財政のあらましは、予算・決算など市の財政事情を市民のみなさまにお伝えするものです。毎年6月1日と12月1日の年2回公表しています。

今回の平成26年6月1日公表分では、平成26年度当初予算の概要と平成25年度下半期（平成25年10月1日から平成26年3月31日まで）の財政運営の状況についてお伝えします。

目 次

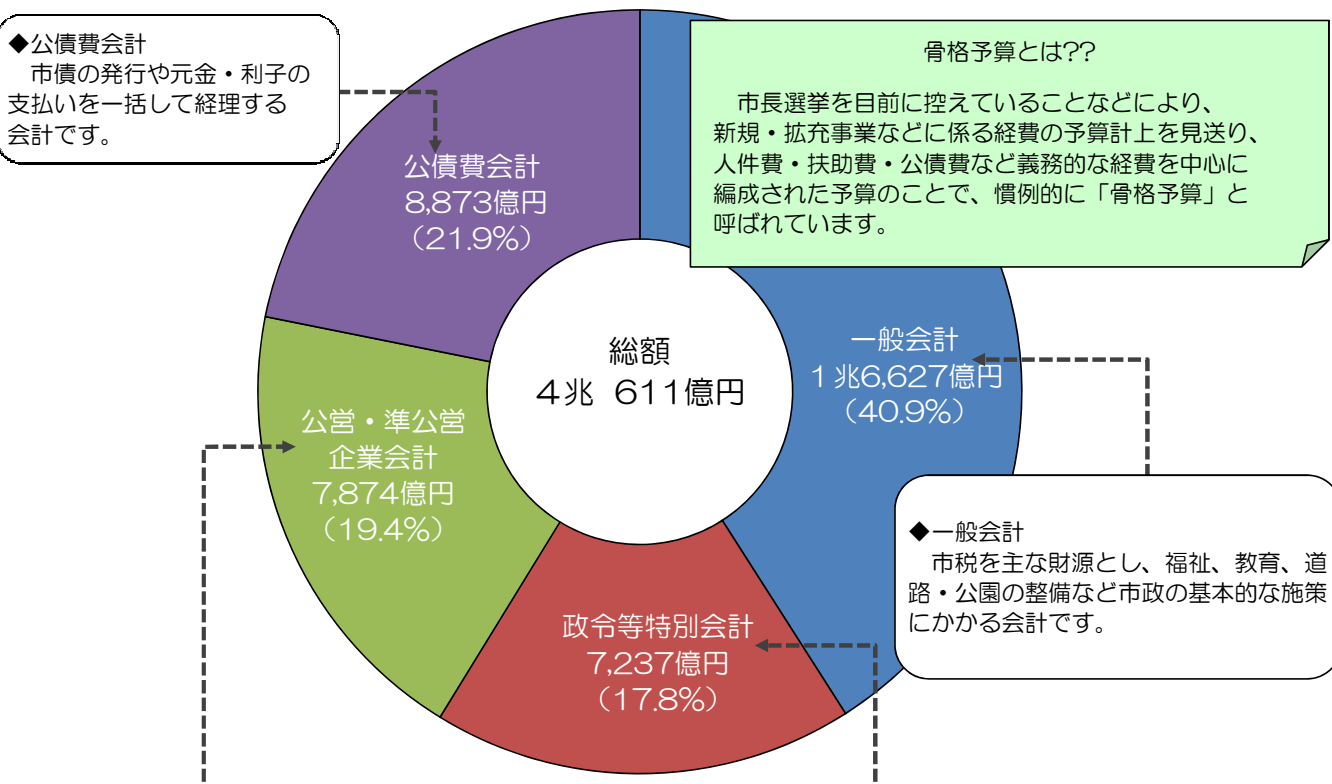
第 1	平成26年度当初予算の概要	1
Ⅰ	全会計予算の状況	1
Ⅱ	一般会計の収入（歳入）	2
Ⅲ	一般会計の支出（歳出）	3
Ⅳ	市民一人あたりにすると??	4
第 2	平成25年度下半期の財政運営の状況	5
Ⅰ	歳入歳出予算執行状況	5
Ⅱ	市有財産の現在高	6
Ⅲ	市債の現在高	7
Ⅳ	一時借入金の現在高	8
Ⅴ	債務負担行為の状況	8
Ⅵ	市民の負担状況	9
第 3	準公営企業の平成25年度下半期の業務状況	10
Ⅰ	中央卸売市場事業	10
Ⅱ	港営事業	13
Ⅲ	下水道事業	16
第 4	公営企業の平成25年度下半期の業務状況	19
Ⅰ	自動車運送事業	19
Ⅱ	高速鉄道事業	22
Ⅲ	水道事業	25
Ⅳ	工業用水道事業	28
Ⅴ	市民病院事業	31

第1 平成26年度当初予算の概要

I 全会計予算の状況

平成26年度当初予算は、本年3月に市長選挙が行われたため、いわゆる「骨格予算」となっています。
 なお、3月24日の新市長の就任を踏まえ、新規・拡充事業など、いわゆる「肉付け予算」と呼ばれる補正予算を編成しています。

補正予算の内容については、大阪市ホームページでご覧いただくことができます。
 【平成26年度予算に関するURL】http://www.city.osaka.lg.jp/shisei_top/category/889-2-12-0-0.html



◆公営・準公営企業会計について

地下鉄、水道、病院事業など、民間企業のようにサービスを受ける方の料金を基本に運営している会計です。
 大阪市には5つの公営企業会計と3つの準公営企業会計があります。

《公営企業会計》

- ・自動車運送事業会計
254億円
- ・高速鉄道事業会計
3,205億円
- ・水道事業会計
1,126億円
- ・工業用水道事業会計
25億円
- ・市民病院事業会計
559億円

《準公営企業会計》

- ・中央卸売市場事業会計
158億円
- ・港営事業会計
840億円
- ・下水道事業会計
1,707億円

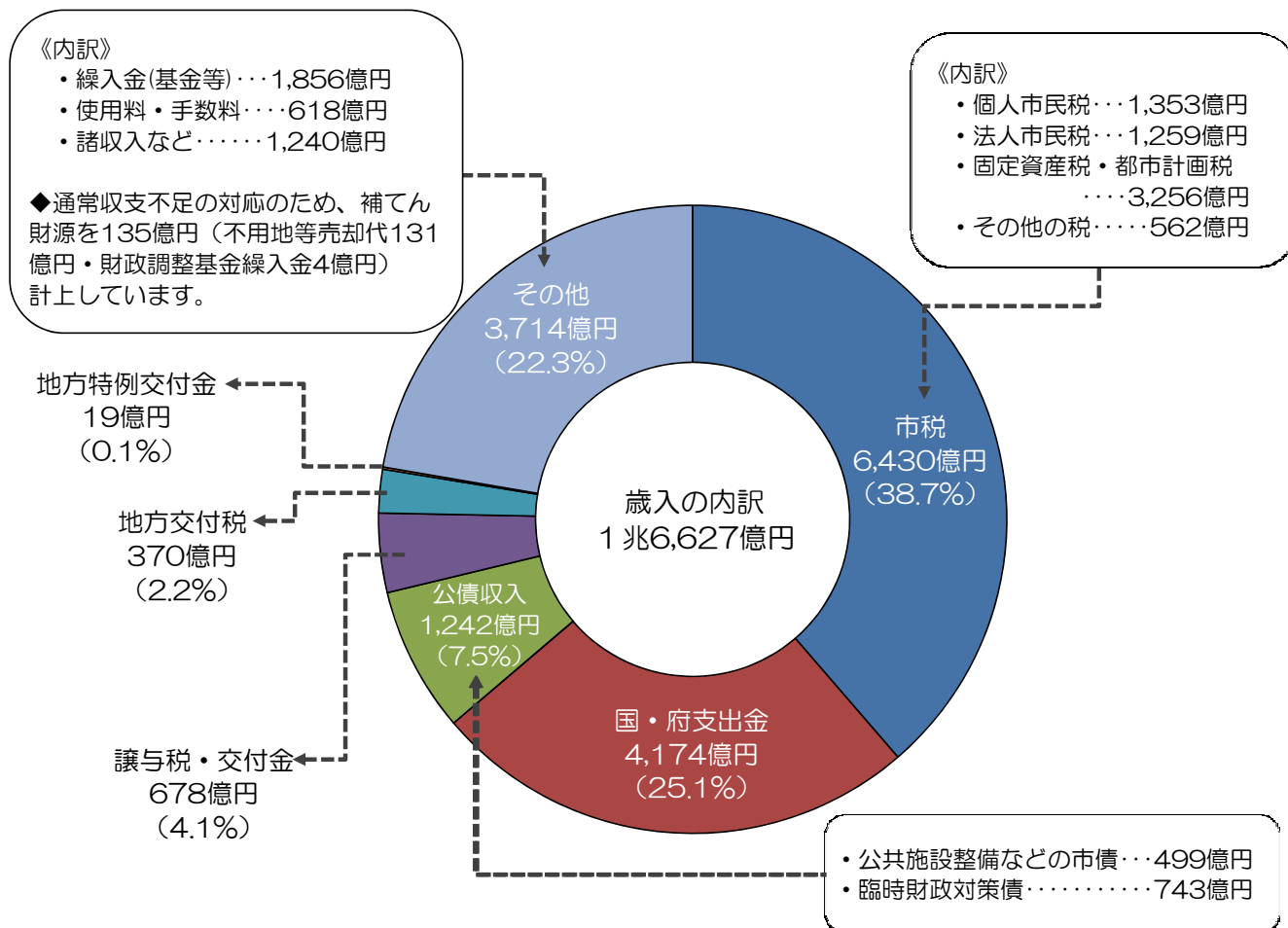
◆政令等特別会計について

特定の収入（保険料など）によって、まかなわれている事業について、一般会計と区別して経理する会計です。
 大阪市には10の政令等特別会計があります。

- | | |
|----------------------|------------------------|
| ・食肉市場事業会計
28億円 | ・母子寡婦福祉貸付資金会計
3億円 |
| ・市街地再開発事業会計
231億円 | ・国民健康保険事業会計
3,377億円 |
| ・駐車場事業会計
28億円 | ・心身障害者扶養共済事業会計
5億円 |
| ・有料道路事業会計
3億円 | ・介護保険事業会計
2,291億円 |
| ・土地先行取得事業会計
991億円 | ・後期高齢者医療事業会計
280億円 |

Ⅱ 一般会計の収入(歳入)

収入には、市税のほか国や府から交付されるお金や借入金があります。



公債収入って何??

大阪市債を買ってもらって得たお金のことを公債収入といいます。

大阪市債とは、たとえば大阪市が学校や道路・公園などの身近な公共施設の整備や、公共施設のバリアフリー化のためにエレベータを設置したりするのに必要なお金の一部を、将来の世代にも負担してもらうために発行する債券のことです。

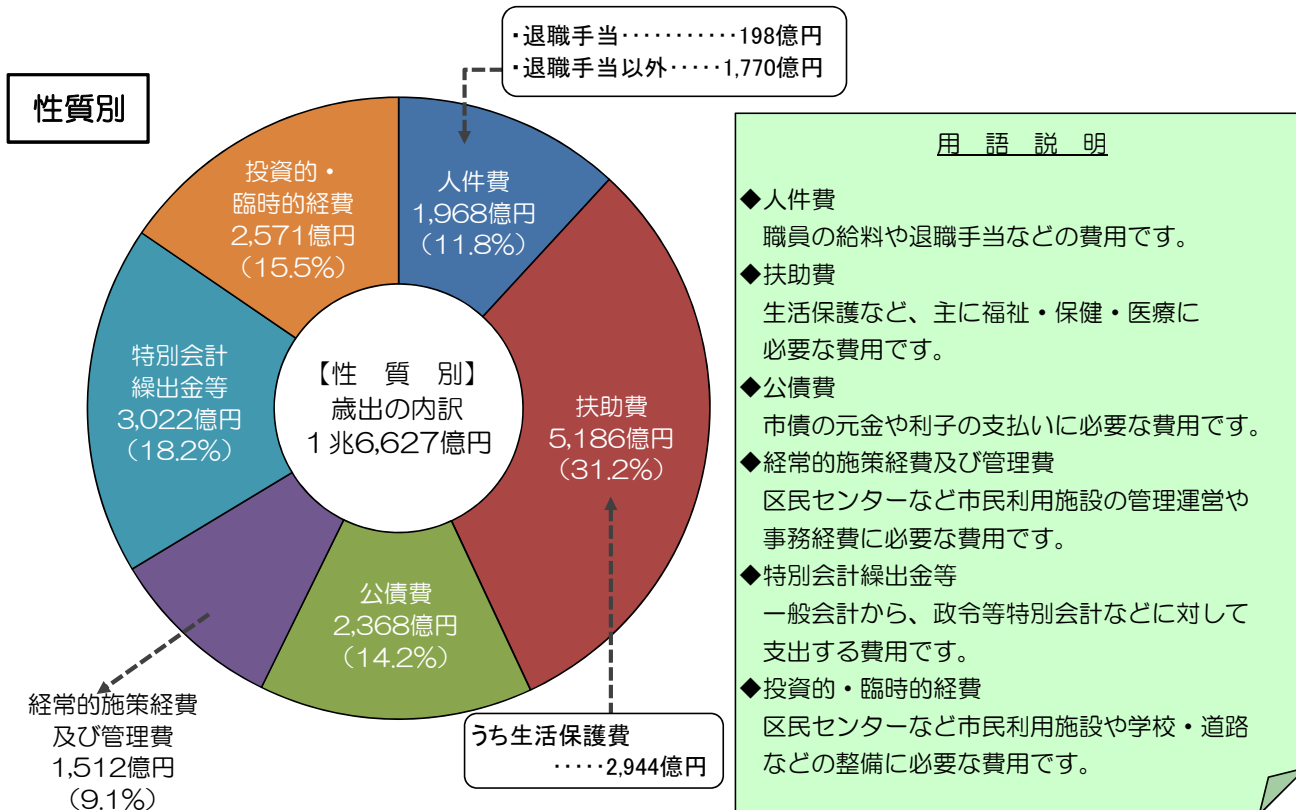
しかし、市債の発行で得た公債収入は市の借金となるので、将来の返済額を考慮しながら発行額を慎重に検討しています。

用語説明

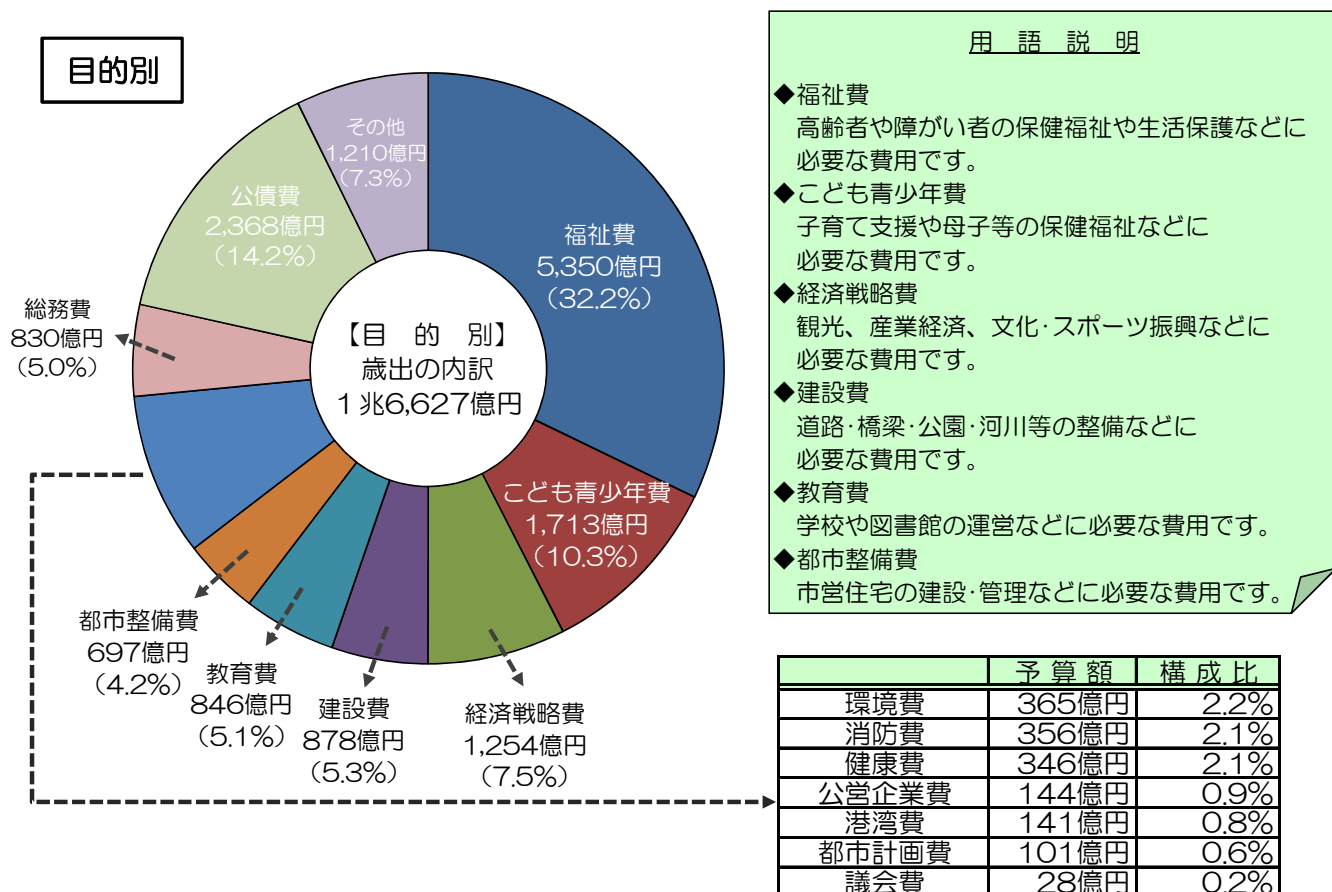
- ◆国・府支出金
国や府から大阪市にわたされるお金のうち、使い道が決められているお金です。
- ◆譲与税・交付金
国や府が集めた税金の一定割合が配分されるお金です。
- ◆地方交付税
すべての地方公共団体が一定の行政サービスを提供できるよう所得税等の国税の一定割合等により財源を保障するお金で、地方の固有財源です。
- ◆臨時財政対策債
地方交付税の財源が足りない場合、市が代わりに借り入れるお金です。
- ◆通常収支不足
不用地等売却代や財政調整基金といった補てん財源を除いた収支が不足していることです。
- ◆財政調整基金
不況による大幅な税収の減や災害の発生による予期しない経費の支出などに備えて積み立てている貯金です。

Ⅲ 一般会計の支出(歳出)

性質別の支出では、人件費や扶助費など、性質ごとにどれだけの費用が必要となるかが分かります。



目的別の支出では、福祉や子育てなど、目的ごとにどれだけの費用が必要となるかが分かります。



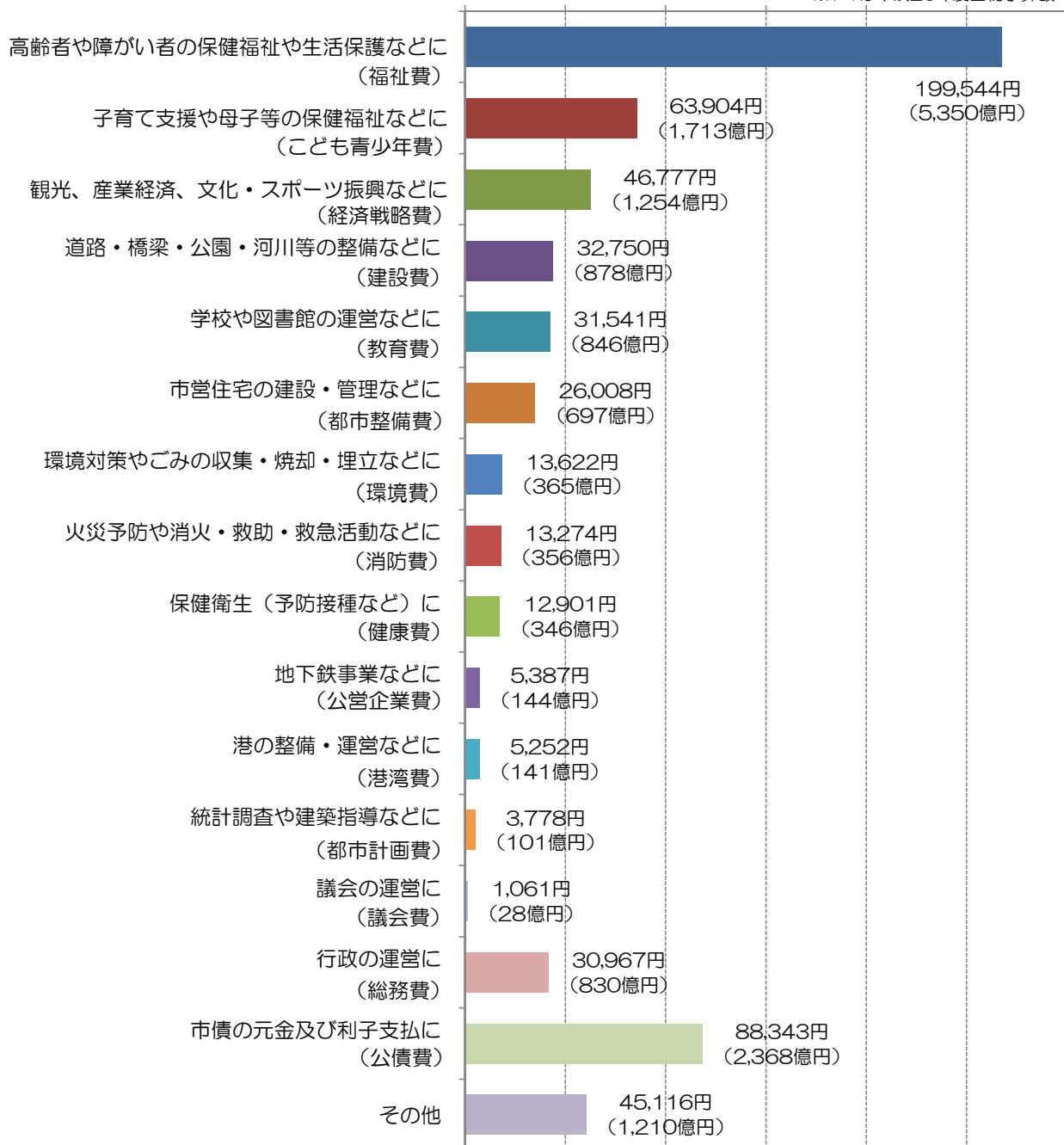
Ⅳ 市民一人あたりにすると??

一般会計の予算（1兆6,627億円）を市民一人あたりに換算すると約62万円となります。
市民生活の向上や地域経済の活性化などいろいろな施策に取り組んでいます。

市民一人あたりの予算額 約62万円の内訳は…
(620,225円)

市民一人あたりの予算額は、千円単位の一般会計予算額と、平成26年3月1日現在の本市推計人口（2,680,869人）を用いて算定しています。

※()は平成26年度当初予算額



第2 平成25年度下半期の財政運営の状況

I 歳入歳出予算執行状況

平成26年3月31日現在における一般会計及び政令等特別会計歳入歳出予算の執行状況は次のとおりです。

(単位：百万円、%)

会 計 名	歳 入			歳 出		
	予算現額 (A)	執行済額 (B)	執行歩合 (B)/(A)	予算現額 (A)	執行済額 (B)	執行歩合 (B)/(A)
一 般 会 計	1,761,663	1,375,321	78	1,761,663	1,147,462	65
食 肉 市 場 事 業 会 計	2,166	708	33	2,166	1,664	77
市 街 地 再 開 発 事 業 会 計	20,927	2,435	12	20,927	1,446	7
駐 車 場 事 業 会 計	1,439	1,081	75	1,439	333	23
有 料 道 路 事 業 会 計	550	549	100	550	95	17
土 地 先 行 取 得 事 業 会 計	82,664	1,185	1	82,664	837	1
母 子 寡 婦 福 祉 貸 付 資 金 会 計	563	526	93	563	276	49
国 民 健 康 保 険 事 業 会 計	354,632	217,381	61	354,632	291,669	82
心 身 障 害 者 扶 養 共 済 事 業 会 計	508	395	78	508	492	97
介 護 保 険 事 業 会 計	218,544	171,386	78	218,544	196,064	90
後 期 高 齢 者 医 療 事 業 会 計	27,998	26,029	93	27,998	23,611	84

- (注) 1. 予算現額は前年度からの繰越額を含む。
2. 「執行歩合」は、円単位の「予算現額」と「執行済額」を用い、小数点以下四捨五入により算出しています。

Ⅱ 市有財産の現在高

本市の市有財産の現在高は次のとおりです。

(平成26年3月31日現在)

区 分		金 額	構 成 比
		百万円	%
1.	公 有 財 産	6, 390, 622	87. 5
	土 地	4, 338, 630	59. 4
	建 物	1, 614, 567	22. 1
	動 産	4, 833	0. 1
	物 権	356	0. 0
	有 価 証 券	175, 059	2. 4
	出 資 に よ る 権 利	244, 646	3. 3
	不動産の信託の受益権	12, 531	0. 2
2.	物 品	116, 070	1. 6
	備 品	95, 694	1. 3
	車 両	17, 987	0. 3
	船 舶	2, 389	0. 0
3.	債 権	146, 309	2. 0
4.	基 金	647, 186	8. 9
合 計		7, 300, 187	100. 0

※数値は速報値のため、決算と異なる場合があります。

- (注) 1. 公営企業会計及び準公営企業会計分を除く。
2. 「物品」については、1件100万円以上のもの。

Ⅲ 市債の現在高

本市の会計別の市債の現在高及び市民１人当たりの市債の現在高は次のとおりです。

(平成26年３月31日現在)

会 計 別	現 在 高	市民１人当たり 現 在 高 (夜 間 人 口)	市民１人当たり 現 在 高 (昼 間 人 口)
	百万円	円	円
一 般 会 計	2,772,549	1,034,434	783,521
食 肉 市 場 事 業 会 計	571	213	161
市 街 地 再 開 発 事 業 会 計	180,826	67,466	51,101
駐 車 場 事 業 会 計	1,824	681	516
有 料 道 路 事 業 会 計	1,095	408	310
土 地 先 行 取 得 事 業 会 計	250,559	93,483	70,808
母 子 寡 婦 福 祉 貸 付 資 金 会 計	2,492	930	704
合 計	3,209,916	1,197,615	907,121

- (注) 1. 公営企業会計及び準公営企業会計分を除く。
2. 「市民１人当たり現在高」は、円単位の会計別現在高と、夜間人口については平成26年４月１日現在の推計人口2,680,258人を、昼間人口については平成22年国勢調査3,538,576人を用いて算出しています。

Ⅳ 一時借入金の現在高

一時的な資金不足を補うために借り入れる一時借入金の残高については、次のとおりです。

(平成26年3月31日現在)

予 算 で 定 め た 最 高 額	一 時 借 入 金 の 現 在 高
169,000 百万円	—

(注) 公営企業会計及び準公営企業会計分を除く。

Ⅴ 債務負担行為の状況

平成25年度下半期の債務負担行為となるべき契約の締結状況は次のとおりです。

(平成26年3月31日現在)

事 項 名	債 務 負 担 期 間	議 決 限 度 額	契 約 金 額
税 務 事 務 シ ス テ ム 事 業	平 成 26 年 度	168,000 千円	43,549 千円
区 庁 舎 建 設 工 事	平 成 26 ～ 27 年 度	2,647,000	81,499
区 庁 舎 改 修 工 事	平 成 26 ～ 27 年 度	911,000	449,080
区 民 施 設 建 設 工 事	平 成 26 ～ 27 年 度	1,865,000	61,000
区 民 施 設 改 修 工 事	平 成 26 ～ 27 年 度	132,000	65,094
老 人 福 祉 セ ン タ ー 建 設 工 事	平 成 26 ～ 27 年 度	269,000	8,762
港 焼 却 工 場 煙 突 解 体 工 事	平 成 26 年 度	119,000	111,481
ごみ焼却処理事業の一部事務組合人事給与・財務会計システム整備	平 成 26 年 度	54,000	34,440
土地区画整理事業に伴う街路築造工事	平 成 26 年 度	281,000	96,000
土地区画整理事業に伴う下水管渠築造工事	平 成 26 年 度	502,000	126,360
道 路 築 造 工 事	平 成 26 年 度	1,696,000	1,039,440
橋 梁 建 設 工 事	平 成 26 ～ 27 年 度	376,000	77,985
橋 梁 改 修 工 事	平 成 26 ～ 27 年 度	1,589,000	1,072,417
河 川 改 修 工 事	平 成 26 年 度	363,000	155,773
公 園 樹 及 び 街 路 樹 保 全 工 事	平 成 26 年 度	150,000	118,869
公 営 住 宅 建 設 工 事	平 成 26 ～ 28 年 度	10,565,000	8,678,357
市 営 住 宅 耐 震 改 修 工 事	平 成 26 年 度	278,000	159,500
市 営 住 宅 管 理 シ ス テ ム 事 業	平 成 26 ～ 31 年 度	723,000	19,450
改 良 住 宅 建 設 工 事	平 成 26 ～ 27 年 度	170,000	155,632
民間すまいりんぐ供給事業に伴う家賃対策補助	平 成 26 ～ 32 年 度	441,000	136,176
新婚・子育て世帯向け分譲住宅購入融資に対する利子補給	平 成 26 ～ 32 年 度	333,000	98,982
エコ住宅購入融資等に対する利子補給	平 成 26 ～ 32 年 度	120,000	10,149

事 項 名	債 務 負 担 期 間	議 決 限 度 額	契 約 金 額
校 舎 建 設 工 事	平 成 26 ～ 27 年 度	4, 523, 000	3, 262, 766
図 書 館 建 設 工 事	平 成 26 ～ 27 年 度	436, 000	14, 051
起 業 支 援 型 地 域 雇 用 創 造 事 業	平 成 26 年 度	269, 000	160, 291

- (注) 1. 公営企業会計及び準公営企業会計分を除く。
2. 「ごみ焼却処理事業の一部事務組合人事給与・財務会計システム整備」及び「公園樹及び街路樹保全工事」については、上半期の契約金額を下半期に変更したもの。

Ⅵ 市民の負担状況

平成26年度当初予算における市民の負担状況は次のとおりです。

市 税 収 入	うち個人市民税	個人市民税 1 人当たり 負 担 額
百万円 643, 015	百万円 135, 348	円 118, 740

- (注) 個人市民税 1 人当たり負担額は、千円単位の個人市民税の額と平成25年 7 月 1 日現在「市町村税課税状況等の調」の納税義務者数（税を負担いただいている方）1, 139, 871人を用いて算出しています。

第3 準公営企業の平成25年度下半期の業務状況

I 中央卸売市場事業

1. 概 況

平成25年度下半期における経営収支は、収益が33億9,400万円、費用が40億5,700万円となり、差引6億6,300万円の損失となりました。

建設改良工事については、本場の消防用設備改良工事等を完成させるとともに、東部市場の共同冷却塔改修工事等を進めました。

2. 損益計算書の要旨

（ 自 平成25年10月 1日
至 平成26年 3月31日 ）

費 用		収 益	
科 目	金 額	科 目	金 額
	百万円		百万円
営 業 費 用	3,353	営 業 収 益	2,948
市 場 管 理 費	1,623	売 上 高 割 使 用 料	402
そ の 他	1,730	施 設 使 用 料	2,024
		雑 収 益	522
営 業 外 費 用	704	営 業 外 収 益	446
		うち一般会計補助金	441
		当 期 純 損 失	663
合 計	4,057	合 計	4,057
当 期 純 損 失 663 百万円			
前 期 繰 越 欠 損 金 31,899 百万円			
当 年 度 未 処 理 欠 損 金 32,562 百万円			

3. 貸借対照表の要旨

(平成26年3月31日現在)

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
	百万円		百万円
固 定 資 産	113,583	固 定 負 債	15,005
有 形 固 定 資 産	113,331		
土 地	17,210	流 動 負 債	3,325
建 物	69,324	一 時 借 入 金	1,872
そ の 他	26,797	未 払 金	900
無 形 固 定 資 産	252	預 り 金	553
流 動 資 産	371		
現 金 ・ 預 金	51	資 本 金	85,890
未 収 金	206	自 己 資 本 金	32,408
そ の 他	114	借 入 資 本 金	53,482
		剰 余 金	9,746
		資 本 剰 余 金	42,308
		欠 損 金	△ 32,562
		(うち当年度純損失)	(△ 924)
繰 延 勘 定	12		
合 計	113,966	合 計	113,966

(注) 有形固定資産の減価償却累計額 58,236百万円

4. 企業債及び一時借入金の現在高

(1) 企業債の現在高 (平成26年3月31日現在)

平成25年度上半期末企業債債額	起 債 額	償 還 額	現 在 高
百万円	百万円	百万円	百万円
68,502	3,094	3,109	68,487

(2) 一時借入金の現在高 (平成26年3月31日現在)

1,872百万円

5. 業 務 の 状 況

(1) 取扱数量及び取扱金額

区 分	取 扱 数 量				取 扱 金 額			
	当 期	前年同期	差 引		当 期	前年同期	差 引	
			増△減	比 率			増△減	比 率
	トン	トン	トン	%	百万円	百万円	百万円	%
本 場	301,935	307,676	△ 5,741	△ 1.9	123,416	116,982	6,434	5.5
東 部 市 場	126,047	132,355	△ 6,308	△ 4.8	47,012	45,965	1,047	2.3
合 計	427,982	440,031	△ 12,049	△ 2.7	170,428	162,947	7,481	4.6

(2) 建設改良工事の概況

建設改良工事の主なものは、次のとおりです。

種 別	金 額	備 考
	百万円	
本 場 設 備 改 良	353	消防用設備改良工事等
東 部 市 場 建 物 改 良	39	加工食料品売場棟外壁改修工事
東 部 市 場 設 備 改 良	57	共同冷却塔改修工事等

(注)金額は、消費税及び地方消費税を含む。

Ⅱ 港営事業

1. 概 況

平成25年度下半期における経営収支は、収益が106億2,300万円、費用は149億8,800万円となり、差引43億6,500万円の損失となりました。

建設改良工事については、港湾施設提供事業では、上屋アスベスト対策等を実施しました。

また、大阪港埋立事業では、夢洲地区の埋立等を実施しました。

2. 損 益 計 算 書 の 要 旨

〔 自 平成25年10月1日
至 平成26年3月31日 〕

費 用		収 益	
科 目	金 額	科 目	金 額
	百万円		百万円
港湾施設提供事業費用	2,408	港湾施設提供事業収益	2,359
営 業 費 用	2,281	営 業 収 益	1,895
荷役機械運営費	65	荷役機械収益	55
上屋倉庫運営費	1,816	上屋倉庫収益	1,829
引船運営費	20	引船収益	11
そ の 他	380		
営 業 外 費 用	127	営 業 外 収 益	464
大阪港埋立事業費用	12,580	大阪港埋立事業収益	8,264
営 業 費 用	10,487	営 業 収 益	7,980
土地売却原価	9,301	土地売却収益	5,594
一般管理費	610	土地賃貸料収益	2,386
そ の 他	576		
営 業 外 費 用	2,093	営 業 外 収 益	284
		当 期 純 損 失	4,365
合 計	14,988	合 計	14,988
当 期 純 損 失		4,365 百万円	
前 期 繰 越 欠 損 金		56,602 百万円	
当 年 度 未 処 理 欠 損 金		60,967 百万円	

3. 貸借対照表の要旨

(平成26年3月31日現在)

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
	百万円		百万円
固 定 資 産	140,957	固 定 負 債	35,183
有 形 固 定 資 産	128,429		
土 地	93,730	流 動 負 債	1,597
建 物	23,475	未 払 金	757
構 築 物	6,942	前 受 金	130
機 械 及 び 装 置	2,719	預 り 金	710
そ の 他	683		
建 設 仮 勘 定	880		
無 形 固 定 資 産	148	資 本 金	397,573
投 資	12,380	自 己 資 本 金	244,415
		借 入 資 本 金	153,158
土 地 造 成 勘 定	224,668		
完 成 土 地	122,978	剰 余 金	△ 55,492
未 成 土 地	101,690	資 本 剰 余 金	5,475
		欠 損 金	△ 60,967
流 動 資 産	13,212	(うち当年度純損失)	(△ 1,835)
現 金 ・ 預 金	189		
未 収 金	568		
短 期 貸 付 金	12,400		
そ の 他	55		
繰 延 勘 定	24		
合 計	378,861	合 計	378,861

(注) 有形固定資産の減価償却累計額58,356百万円

4. 企業債及び一時借入金の現在高

(1) 企業債の現在高 (平成26年3月31日現在)

平成25年度上半期末企業債償額	起 債 額	償 還 額	現 在 高
百万円	百万円	百万円	百万円
160,356	2,047	4,455	157,948

(2) 一時借入金の現在高 (平成26年3月31日現在)

な し

5. 業 務 の 状 況

(1) 港湾施設運営の状況

区 分		当 期	前 年 同 期	差 引	
				増 △ 減	比 率
荷役機械	一 般	2 基	4 基	△ 2 基	△ 50.0 %
	専 用	0 基	1 基	△ 1 基	△ 100.0
上 屋		81 棟	82 棟	△ 1 棟	△ 1.2
附 設 事 務 所		51 カ所	57 カ所	△ 6 カ所	△ 10.5
貯 炭 場		8,404 m ²	13,404 m ²	△ 5,000 m ²	△ 37.3
荷 さ ば き 地		918,081 m ²	990,081 m ²	△ 72,000 m ²	△ 7.3
引 船		1 隻	2 隻	△ 1 隻	△ 50.0

(注)施設数及び面積は、各期末現在である。

(2) 建設改良工事の概況

建設改良工事の主なものは、次のとおりです。

①港湾施設提供事業

種 別	金 額	備 考
	百万円	
埠 頭 用 地 整 備	113	夢洲埠頭用地整備
上 屋 整 備	274	上屋アスベスト対策等

(注)金額は、消費税及び地方消費税を含む。

②大阪港埋立事業

種 別	金 額	備 考
	百万円	
咲 洲 地 区 埋 立	69	護岸築造等
舞 洲 地 区 埋 立	39	道路整備工事
夢 洲 地 区 埋 立	146	埋立工事等
関 連 事 業	816	下水道整備等

(注)金額は、消費税及び地方消費税を含む。

Ⅲ 下水道事業

1. 概 況

平成25年度下半期における経営収支は、収益が344億7,400万円、費用が319億2,900万円となり、差引25億4,500万円の剰余となりました。

建設改良工事については、引き続き、新今里～寺田町下水道幹線をはじめとする幹線下水管渠、ポンプ場の増設工事などの抜本的な浸水対策を推進しました。

さらに、公共用水域の水質保全対策として、平成の太閤下水をはじめとする合流式下水道改善対策や、長堀抽水所雨水滞水池の建設などを進めたほか、都市環境対策（アメニティ対策）として、下水処理場、抽水所の環境整備を進めました。また、老朽化した施設の改築・更新を行いました。

2. 損 益 計 算 書 の 要 旨

〔 自 平成25年10月1日
至 平成26年3月31日 〕

費 用		収 益	
科 目	金 額	科 目	金 額
	百万円		百万円
営 業 費 用	27,514	営 業 収 益	19,444
管 渠 費	1,814	下 水 道 使 用 料	19,030
抽 水 所 費	1,223	そ の 他 営 業 収 益	414
処 理 場 費	5,722		
そ の 他	18,755		
営 業 外 費 用	4,415	営 業 外 収 益	15,014
		うち一般会計補助金	14,693
経 常 利 益	(2,529)		
		特 別 利 益	16
当 期 純 利 益	2,545		
合 計	34,474	合 計	34,474
当 期 純 利 益		2,545 百万円	
前 期 繰 越 利 益 剰 余 金		990 百万円	
当 年 度 未 処 分 利 益 剰 余 金		3,535 百万円	

3. 貸借対照表の要旨

(平成26年3月31日現在)

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
	百万円		百万円
固 定 資 産	1,296,703	固 定 負 債	16,030
有 形 固 定 資 産	1,270,532		
構 築 物	765,924	流 動 負 債	27,891
機 械 及 び 装 置	268,155	未 払 金	27,876
そ の 他	236,453	そ の 他	15
無 形 固 定 資 産	18,949		
投 資	7,222	資 本 金	567,129
		自 己 資 本 金	73,373
流 動 資 産	49,632	借 入 資 本 金	493,756
現 金 ・ 預 金	385		
未 収 金	5,619	剰 余 金	735,350
短 期 貸 付 金	42,150	資 本 剰 余 金	731,815
前 払 金	1,439	利 益 剰 余 金	3,535
そ の 他	39	(うち当年度純利益)	(3,007)
繰 延 勘 定	65		
合 計	1,346,400	合 計	1,346,400

(注) 有形固定資産の減価償却累計額 666,034百万円

4. 企業債及び一時借入金の現在高

(1) 企業債の現在高 (平成26年3月31日現在)

平成25年度上半期末企業債債額	起 債 額	償 還 額	現 在 高
百万円	百万円	百万円	百万円
512,124	12,561	17,608	507,077

(2) 一時借入金の現在高 (平成26年3月31日現在)

な し

5. 業 務 の 状 況

(1) 下水排水及び処理状況

区 分	当 期	前 年 同 期	差 引	
			増 △ 減	比 率
管 渠 延 長	4,910,757 m	4,900,363 m	10,394 m	0.2 %
抽 水 所	58 カ所	58 カ所	0 カ所	—
下 水 処 理 場	12 カ所	12 カ所	0 カ所	—
ス ラ ッ ジ セ ン タ ー	1 カ所	1 カ所	0 カ所	—
排 水 面 積	190,527,000 m ²	190,527,000 m ²	0 m ²	—
処 理 面 積	190,527,000 m ²	190,527,000 m ²	0 m ²	—

(注) 管渠延長、施設数及び面積は、各期末現在である。

(2) 建設改良工事の概況

建設改良工事の主なものは、次のとおりです。

種 別	金 額	備 考
	百万円	
北 浜 逢 阪 貯 留 管 築 造 工 事	660	平成20年度からの継続工事(延長4.8km)
新 今 里 ～ 寺 田 町 幹 線 下 水 管 渠 築 造 工 事	610	平成21年度からの継続工事(延長4.3km)
長 堀 抽 水 所 雨 水 滞 水 池 築 造 工 事	289	雨水滞水池築造工事等

(注) 金額は、消費税及び地方消費税を含む。

第4 公営企業の平成25年度下半期の業務状況

I 自動車運送事業

1. 概 況

平成25年度下半期における経営収支は、収益が73億6,700万円、費用が73億8,200万円となり、差引1,500万円の損失となりました。

建設改良工事については、料金収納機等の改造などを実施しました。

2. 損 益 計 算 書 の 要 旨

〔 自 平成25年10月1日
至 平成26年3月31日 〕

費 用		収 益	
科 目	金 額	科 目	金 額
	百万円		百万円
営 業 費 用	6,869	営 業 収 益	6,163
車 両 保 存 費	898	運 輸 収 益	6,073
運 転 費	2,898	運 輸 雑 収	90
そ の 他	3,073		
営 業 外 費 用	244	営 業 外 収 益	535
		うち一般会計補助金	491
		経 常 損 失	(415)
特 別 損 失	269	特 別 利 益	669
		当 期 純 損 失	15
合 計	7,382	合 計	7,382
当 期 純 損 失		15 百万円	
前 期 繰 越 欠 損 金		59,322 百万円	
当 年 度 未 処 理 欠 損 金		59,337 百万円	

3. 貸借対照表の要旨

(平成26年3月31日現在)

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
	百万円		百万円
固 定 資 産	18,186	固 定 負 債	10,832
有 形 固 定 資 産	18,177		
土 地	4,927	流 動 負 債	9,026
建 物	8,301	未 払 金	5,917
車 両	3,023	そ の 他	3,109
そ の 他	1,912		
建 設 仮 勘 定	14		
無 形 固 定 資 産	1		
投 資	8	資 本 金	56,183
		自 己 資 本 金	46,305
流 動 資 産	10,497	借 入 資 本 金	9,878
現 金 ・ 預 金	8,848		
未 収 金	1,576	剰 余 金	△ 47,358
そ の 他	73	資 本 剰 余 金	11,979
		欠 損 金	△ 59,337
		(うち当年度純利益)	(2,850)
合 計	28,683	合 計	28,683

(注) 有形固定資産の減価償却累計額等 27,644百万円

4. 企業債及び一時借入金の現在高

(1) 企業債の現在高 (平成26年3月31日現在)

平成25年度上半期末企業債債額	起 債 額	償 還 額	現 在 高
百万円	百万円	百万円	百万円
11,290	—	1,412	9,878

(2) 一時借入金の現在高 (平成26年3月31日現在)

な し

5. 業 務 の 状 況

(1) 運輸成績（1日平均）

区 分	当 期	前 年 同 期	差 引	
			増 △ 減	比 率
営 業 キ ロ	439.3 km	477.0 km	△ 37.7 km	△ 7.9 %
在 籍 車 数	530 両	560 両	△ 30 両	△ 5.4
運 転 車 数	490 両	571 両	△ 81 両	△ 14.2
走 行 キ ロ	48,625 km	57,247 km	△ 8,622 km	△ 15.1
乗 車 人 員	207,067 人	214,193 人	△ 7,126 人	△ 3.3
乗 客 収 入	33,369,639 円	33,590,373 円	△ 220,734 円	△ 0.7

（注）営業キロ及び在籍車数は、各期末現在である。

(2) 建設改良工事の概況

建設改良工事の主なものは、次のとおりです。

種 別	金 額	備 考
車 両 機 器 更 新 等	百万円 23	料金収納機等の改造など
営 業 所 改 良 工 事	10	営業所の改修など

（注）金額は、消費税及び地方消費税を含む。

Ⅱ 高速鉄道事業

1. 概 況

平成25年度下半期における経営収支は、収益が845億700万円、費用が696億3,400万円となり、差引148億7,300万円の剰余となりました。

建設改良工事については、エレベーター等設置工事、可動式ホーム柵設置工事及び車両改造等工事などを実施しました。

2. 損 益 計 算 書 の 要 旨

〔 自 平成25年10月1日
至 平成26年3月31日 〕

費 用		収 益	
科 目	金 額	科 目	金 額
	百万円		百万円
営 業 費 用	60,963	営 業 収 益	78,116
車 両 保 存 費	4,669	運 輸 収 益	73,609
運 転 費	9,195	運 輸 雑 収	4,507
運 輸 費	11,711		
そ の 他	35,388		
営 業 外 費 用	7,932	営 業 外 収 益	2,238
経 常 利 益	(11,459)		
特 別 損 失	739	特 別 利 益	4,153
当 期 純 利 益	14,873		
合 計	84,507	合 計	84,507
当 期 純 利 益		14,873 百万円	
前 期 繰 越 利 益 剰 余 金		18,609 百万円	
当 年 度 未 処 分 利 益 剰 余 金		33,482 百万円	

3. 貸借対照表の要旨

(平成26年3月31日現在)

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
	百万円		百万円
固 定 資 産	1, 296, 852	固 定 負 債	32, 964
有 形 固 定 資 産	1, 213, 416		
土 地	51, 329	流 動 負 債	28, 544
線 路 設 備	868, 355	未 払 金	18, 812
電 路 設 備	163, 559	そ の 他	9, 732
車 両	43, 047		
そ の 他	71, 864	資 本 金	936, 527
建 設 仮 勘 定	15, 262	自 己 資 本 金	411, 953
無 形 固 定 資 産	3, 588	借 入 資 本 金	524, 574
投 資	79, 848		
流 動 資 産	81, 188	剰 余 金	380, 027
現 金 ・ 預 金	66, 826	資 本 剰 余 金	346, 545
未 収 金	13, 328	利 益 剰 余 金	33, 482
そ の 他	1, 034	(うち当年度純利益)	(33, 387)
繰 延 勘 定	22		
合 計	1, 378, 062	合 計	1, 378, 062

(注) 有形固定資産の減価償却累計額 999,134百万円

4. 企業債及び一時借入金の現在高

(1) 企業債の現在高 (平成26年3月31日現在)

平成25年度上半期末企業債債額	起 債 額	償 還 額	現 在 高
百万円	百万円	百万円	百万円
553, 046	18, 080	16, 276	554, 850

(2) 一時借入金の現在高 (平成26年3月31日現在)

な し

5. 業 務 の 状 況

(1) 運輸成績（1日平均）

区 分		当 期	前 年 同 期	差 引	
				増 △ 減	比 率
営 業 キ ロ	高 速 鉄 道	129.9 km	129.9 km	0 km	— %
	中 量 軌 道	7.9 km	7.9 km	0 km	—
	計	137.8 km	137.8 km	0 km	—
在 籍 車 数	高 速 鉄 道	1,280 両	1,280 両	0 両	—
	中 量 軌 道	80 両	80 両	0 両	—
	計	1,360 両	1,360 両	0 両	—
運 転 車 数	高 速 鉄 道	984 両	990 両	△ 6 両	△ 0.6
	中 量 軌 道	61 両	61 両	0 両	—
	計	1,045 両	1,051 両	△ 6 両	△ 0.6
走 行 キ ロ	高 速 鉄 道	311,286 km	313,720 km	△ 2,434 km	△ 0.8
	中 量 軌 道	14,070 km	14,046 km	24 km	0.2
	計	325,356 km	327,766 km	△ 2,410 km	△ 0.7
乗 車 人 員	高 速 鉄 道	2,278,404 人	2,226,550 人	51,854 人	2.3
	中 量 軌 道	73,218 人	71,064 人	2,154 人	3.0
	計	2,351,622 人	2,297,614 人	54,008 人	2.4
乗 客 収 入		404,448,423 円	395,297,988 円	9,150,435 円	2.3

（注）営業キロ及び在籍車数は、各期末現在である。

(2) 建設改良工事の概況

建設改良工事の主なものは、次のとおりです。

種 別	金 額	備 考
	百万円	
エレベーター等設置工事	1,256	難波駅など9駅
可動式ホーム柵設置工事	634	車両改造工事など
車両改造等工事	3,873	車内案内表示装置の設置など
業務機械化工事	1,324	自動定期券発行機購入など
火災対策設備整備工事	2,659	難波駅など21駅

（注）金額は、消費税及び地方消費税を含む。

Ⅲ 水道事業

1. 概 況

平成25年度下半期における経営収支は、収益が349億7,400万円、費用が281億1,000万円となり、差引68億6,400万円の剰余となりました。

建設改良工事については、安定給水確保のため信頼性の高い浄水施設の整備、配水管網の拡充整備等を実施しました。

なお、期末の給水世帯数は、152万3,989世帯となり前年同期に比べ0.6%の増加となっています。

2. 損 益 計 算 書 の 要 旨

〔 自 平成25年10月1日
至 平成26年3月31日 〕

費 用		収 益	
科 目	金 額	科 目	金 額
	百万円		百万円
営 業 費 用	25,044	営 業 収 益	30,845
浄水送水費	6,005	給水収益	29,591
配水費	3,112	受託工事収益	74
給水費	3,991	その他営業収益	1,180
その他	11,936		
営 業 外 費 用	2,765	営 業 外 収 益	586
経 常 利 益	(3,622)		
特 別 損 失	301	特 別 利 益	3,543
当 期 純 利 益	6,864		
合 計	34,974	合 計	34,974
当 期 純 利 益 6,864 百万円 前期繰越利益剰余金 13,960 百万円 当年度未処分利益剰余金 20,824 百万円			

3. 貸借対照表の要旨

(平成26年3月31日現在)

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
	百万円		百万円
固 定 資 産	430,484	固 定 負 債	406
有 形 固 定 資 産	397,601		
土 地	6,929	流 動 負 債	16,667
建 物	19,913	未 払 金	13,131
構 築 物	321,135	前 受 金	395
機 械 及 び 装 置	41,012	預 り 金	510
そ の 他	464	そ の 他	2,631
建 設 仮 勘 定	8,148		
無 形 固 定 資 産	11,392	資 本 金	364,314
投 資	21,491	自 己 資 本 金	156,720
		借 入 資 本 金	207,594
流 動 資 産	46,732		
現 金 ・ 預 金	38,977	剰 余 金	95,854
未 収 金	4,352	資 本 剰 余 金	71,973
貯 蔵 品	518	利 益 剰 余 金	23,881
そ の 他	2,885	(うち当年度純利益)	(12,208)
繰 延 勘 定	25		
合 計	477,241	合 計	477,241

(注) 有形固定資産の減価償却累計額 341,053百万円

4. 企業債及び一時借入金の現在高

(1) 企業債の現在高 (平成26年3月31日現在)

平成25年度上半期末企業債債額	起 債 額	償 還 額	現 在 高
百万円	百万円	百万円	百万円
213,426	810	7,040	207,196

(2) 一時借入金の現在高 (平成26年3月31日現在)

な し

5. 業 務 の 状 況

(1) 給 水 の 状 況

区 分	当 期	前 年 同 期	差 引	
			増 △ 減	比 率
給 水 量	216,446,820 m ³	216,968,600 m ³	△ 521,780 m ³	△ 0.2 %
1 日 平 均	1,189,268 m ³	1,192,135 m ³	△ 2,867 m ³	△ 0.2
給 水 世 帯 数	1,523,989 世帯	1,514,742 世帯	9,247 世帯	0.6

(注) 1. 給水世帯数は、各期末現在である。

2. 給水量には市外給水（豊中市、吹田市、寝屋川市、大東市及び東大阪市）分を含む。

(2) 建設改良工事の概況

建設改良工事の主なものは、次のとおりです。

種 別	金 額	備 考
	百万円	
改 良 工 事		
浄 送 水 設 備	7,256	庭窪浄水場設備改良等
配 水 設 備	3,485	配水管布設、配水幹線改良等
そ の 他 設 備	611	その他設備改良

(注) 金額は、消費税及び地方消費税を含む。

Ⅳ 工業用水道事業

1. 概 況

平成25年度下半期における経営収支は、収益が8億1,400万円、費用が6億7,200万円となり、差引1億4,200万円の剰余となりました。

建設改良工事については、浄水施設の整備、配水管の布設等を実施しました。

2. 損 益 計 算 書 の 要 旨

〔 自 平成25年10月1日
至 平成26年3月31日 〕

費 用		収 益	
科 目	金 額	科 目	金 額
	百万円		百万円
営 業 費 用	587	営 業 収 益	809
浄 水 送 水 費	257	給 水 収 益	768
配 水 費	54	受 託 工 事 収 益	35
そ の 他	276	そ の 他 営 業 収 益	6
営 業 外 費 用	85	営 業 外 収 益	5
当 期 純 利 益	142		
合 計	814	合 計	814
当 期 純 利 益		142 百万円	
前 期 繰 越 欠 損 金		885 百万円	
当 年 度 未 処 理 欠 損 金		743 百万円	

3. 貸借対照表の要旨

(平成26年3月31日現在)

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
	百万円		百万円
固 定 資 産	15,502	流 動 負 債	670
有 形 固 定 資 産	15,502	未 払 金	289
土 地	3,336	前 受 金	10
建 物	59	そ の 他	371
構 築 物	9,803	資 本 金	9,460
機 械 及 び 装 置	2,232	自 己 資 本 金	8,040
そ の 他	8	借 入 資 本 金	1,420
建 設 仮 勘 定	64		
流 動 資 産	5,686	剰 余 金	11,058
現 金 ・ 預 金	5,413	資 本 剰 余 金	11,801
未 収 金	255	欠 損 金	△ 743
そ の 他	18	(うち当年度純利益)	(292)
合 計	21,188	合 計	21,188

(注) 有形固定資産の減価償却累計額16,674百万円

4. 企業債及び一時借入金の現在高

(1) 企業債の現在高 (平成26年3月31日現在)

平成25年度上半期末企業債債額	起 債 額	償 還 額	現 在 高
百万円	百万円	百万円	百万円
1,542	—	122	1,420

(2) 一時借入金の現在高 (平成26年3月31日現在)

な し

5. 業 務 の 状 況

(1) 給 水 の 状 況

区 分	当 期	前 年 同 期	差 引	
			増 △ 減	比 率
給 水 量	12,569,800 m ³	12,120,210 m ³	449,590 m ³	3.7 %
1 日 平 均	69,065 m ³	66,595 m ³	2,470 m ³	3.7
給 水 社 数	298 社	306 社	△ 8 社	△ 2.6
給 水 工 場 数	365 工場	368 工場	△ 3 工場	△ 0.8

(注)給水社数及び給水工場数は、各期末現在である。

(2) 建設改良工事の概況

建設改良工事の主なものは、次のとおりです。

種 別	金 額	備 考
	百万円	
改 良 工 事		
浄 送 水 設 備	480	東淀川浄水場設備改良等
配 水 設 備	288	配水管布設等
そ の 他 設 備	1	機械器具

(注)金額は、消費税及び地方消費税を含む。

V 市民病院事業

1. 概 況

平成25年度下半期における経営収支は、収益が219億5,200万円、費用が206億7,100万円となり、差引12億8,100万円の剰余となりました。

建設改良工事については、総合医療センターをはじめ各市民病院の診療機能の高度化と効率化を図るため、各種医療機器の購入及び諸施設の整備を行いました。

2. 損 益 計 算 書 の 要 旨

〔 自 平成25年10月1日
至 平成26年3月31日 〕

費 用		収 益	
科 目	金 額	科 目	金 額
	百万円		百万円
医 業 費 用	19,263	医 業 収 益	17,892
給 与 費	8,853	入 院 収 益	12,776
材 料 費	4,604	外 来 収 益	4,273
そ の 他	5,806	一般会計負担金	602
		その他医業収益	241
医 業 外 費 用	1,408	医 業 外 収 益	3,989
		うち一般会計補助金	3,673
経 常 利 益	(1,210)		
当 期 純 利 益	1,281	特 別 利 益	71
合 計	21,952	合 計	21,952
当 期 純 利 益		1,281 百万円	
前 期 繰 越 欠 損 金		19,356 百万円	
当 年 度 未 処 理 欠 損 金		18,075 百万円	

3. 貸借対照表の要旨

(平成26年3月31日現在)

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
	百万円		百万円
固 定 資 産	78,223	固 定 負 債	2,784
有 形 固 定 資 産	76,677		
土 地	7,866	流 動 負 債	6,834
建 物	61,099	未 払 金	6,168
工具、器具及び備品	6,696	預 り 金	666
そ の 他	455		
建 設 仮 勘 定	561		
無 形 固 定 資 産	1,546	資 本 金	67,581
		自 己 資 本 金	13,862
流 動 資 産	12,584	借 入 資 本 金	53,719
現 金 ・ 預 金	5,603		
未 収 金	6,536	剰 余 金	13,609
貯 蔵 品	439	資 本 剰 余 金	31,684
そ の 他	6	欠 損 金	△ 18,075
		(うち当年度純利益)	(2,833)
繰 延 勘 定	1		
合 計	90,808	合 計	90,808

(注) 有形固定資産の減価償却累計額 54,451百万円

4. 企業債及び一時借入金の現在高

(1) 企業債の現在高 (平成26年3月31日現在)

平成25年度上半期末企業債債額	起 債 額	償 還 額	現 在 高
百万円	百万円	百万円	百万円
48,912	3,560	2,077	50,395

(2) 一時借入金の現在高 (平成26年3月31日現在)

な し

5. 業 務 の 状 況

(1) 患 者 数

区 分	当 期	前 年 同 期	差 引	
			増 △ 減	比 率
病 床 数	1,427 床	1,461 床	△ 34 床	△ 2.3 %
1 日 平 均 入 院 患 者 数	1,092.5 人	1,102.6 人	△ 10.1 人	△ 0.9
1 日 平 均 外 来 患 者 数	2,418.9 人	2,747.3 人	△ 328.4 人	△ 12.0

(注)病床数は、各期末現在である。

(2) 建設改良工事の概況

建設改良工事の主なものは、次のとおりです。

種 別	金 額	備 考
	百万円	
建 物 内 部 改 修	1,585	空調用冷凍機改修工事等
医 療 ・ 検 査 用 備 品	1,647	定位放射線治療装置等
看 護 用 備 品	20	ベッドパンウォッシャー等
そ の 他 備 品	38	患者待合用椅子及び受付カウンター等

(注)金額は、消費税及び地方消費税を含む。